

総務常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和3年4月14日（水） 午前9時30分 ～ 午後3時15分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 6名のうち出席者 6名			
出 席 委 員	委 員 長	緒方 正綱	委 員	岩井 優之介
	副委員長	村井 眞菜	委 員	橋本 章央
	委 員	中屋 康	委 員	味元 和義
事 務 局	事務局長	長谷部 卓也		
説 明 者	政 策 監	大元 学	生涯学習課	課長 林 瑞穂
	文化的施設 整備推進室	室長 大河原信子	建 設 課	課長 竹内 幸喜
		主任 松下 理恵		
傍 聴 者				
				
				
付 議 事 件	1. 請願第3－1号 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める請願について			
	2. 陳情第3－1号 四万十町議会の「見える化」を求める陳情について			
	3. 活動方針及び活動計画について 4. その他			
審 査 ・ 調 査	【請願・陳情審査】			
	①請願第3－1号			
	この請願については、令和3年3月10日に付託を受けて、継続審査として協議してきたところであり、その経過を確認した中で協議を行った。			
	継続審議の要因の一つに民法改正に関する請願であり、慎重に審査した上で判断すべき内容であるところに難しさがあった。			
	家制度の考え方や家族観による意見の違い、夫婦別姓、夫婦同姓の権利の保障、地方議会から上げていくのはどうかということが主な視点となった。			
	（委員の意見）			
	○憲法第24条に基づいて、当然である。賛成だ。			
	○夫婦別姓、同姓どちらの権利も得られることは必要で、現代社会において必要になってきているので賛成だ。			
	○地方議会から上げていくことが大切。			

	○今、国のレベルでまだはっきりとした方向性がない。検討段階の中で地方議会から上げていくのはどうか。		
	○夫婦が同じ姓を氏になろうということが余りにも当たり前すぎて私の周りの若い人たちに聞いても関心がない。そんな中で選択的夫婦別姓を法制化しなくてはいけないのか。そこまでの議論には至らない。意見書提出は必要ない。		
	○父親、母親の家族の絆が強まる。		
	採決の結果、不採択 3 名、採択 2 名で不採択に決定。		
	②陳情第 3－1 号		
	この陳情については、令和 3 年 3 月 10 日に付託を受けて、四万十町議会の対応を十分検証した中で、協議すべきということで継続審査としていた。		
	陳情の 5 項目について、議会对応、事務局対応を確認した上で協議を行なった。		
	(委員の意見)		
	○陳情者の思いに 100%とは思わないが、議会としてできる部分は最大限できていると判断している。議会運営委員会の傍聴は取り上げる必要はない。		
	○速やかな情報公開ということだが、基本的に四万十町議会の情報公開は進んでいると思う。		
	○迅速化というのは分かる。念頭においてやっていくという思いでいいと思う。		
	○5 項目についてはほぼ情報公開できている。委員会報告書の HP 掲載は県下では四万十町が唯一である。意見箱については、全議員に配布をして意見を聞いている。この 5 項目については県下的に見ても十分納得してもらえる。		
	採決の結果、採択 0 名で不採択と決定。		
	③活動方針及び活動計画について		
	前回の委員会で活動方針、活動計画について意見を出してもらった中で、総務常任委員会として、2 年間のテーマとして下記の項目 2 つを決定した。		
	1. 職員の時間外労働の調査		
	2. 議会 B C P の取り組み		
	④その他について		
	1. 町の財政状況、予算編成の仕組みについて財政班の説明を受けた。今後も、財政状況の調査として定期的に取り上げていく。		
	2. 文化的施設整備事業について、大元政策監他 4 名の関係者が出席で文化的施設整備推進室の体制、今後の進め方、基本設計の概要について説明を受けた。		
	報 告 日	令和 3 年 4 月 27 日 (火)	委員長署名 緒 方 正 綱